

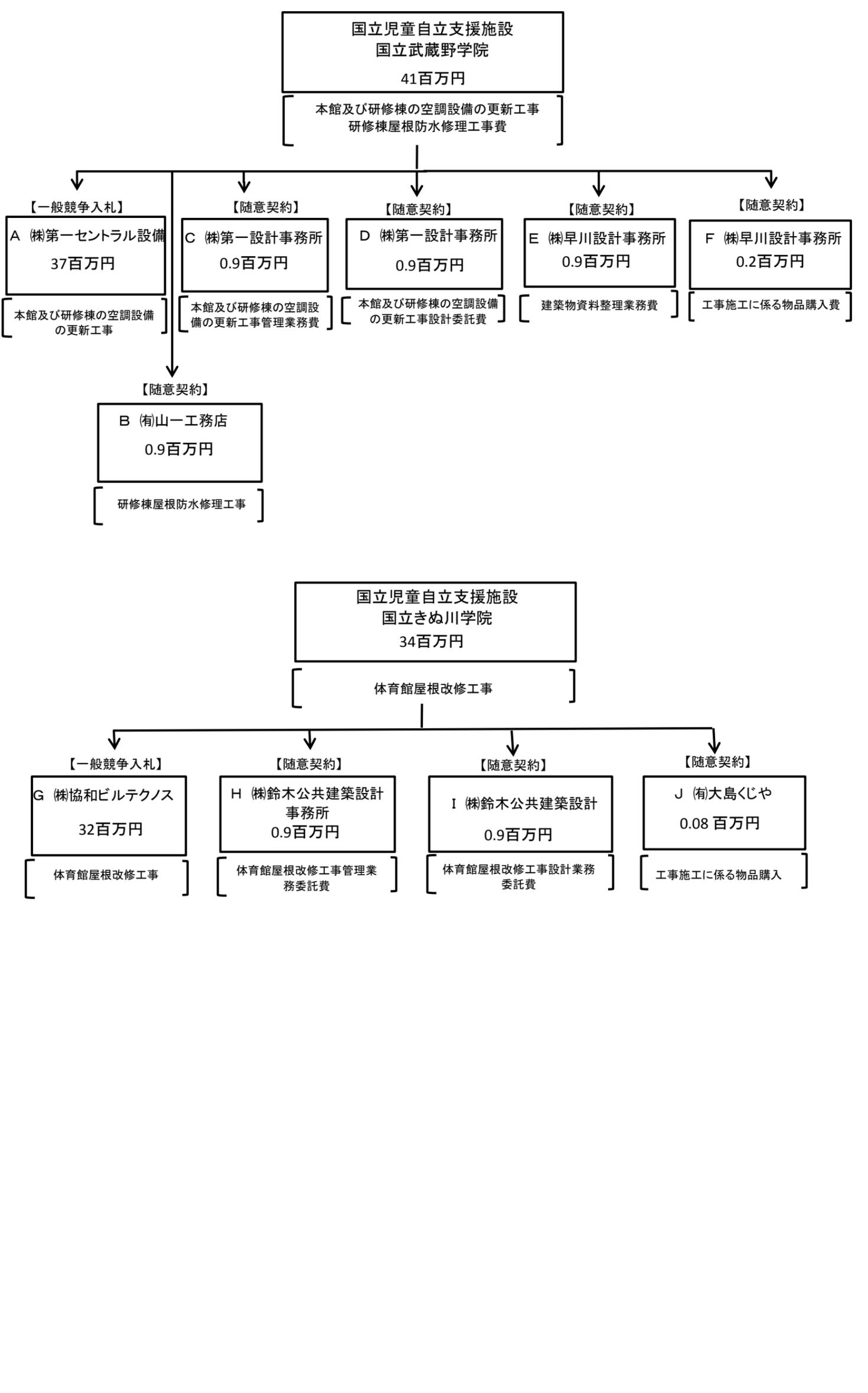
平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	国立更生保護機関施設整備に必要な経費		担当部局庁	雇用均等・児童家庭局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	大正8年度		担当課室	家庭福祉課		高橋 俊之	
会計区分	一般会計		施策名	Ⅲ-1-5 児童虐待防止や配偶者による暴力被害者等への支援を充実する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	厚生労働省組織規則第135条		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厚生労働省組織令に基づき設置されている国立児童自立支援施設(国立きぬ川学院、国立武蔵野学院)の施設整備を目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	児童福祉法等に基づき、不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童を入所させ、又は保護者の下から通わせて、個々の児童の状況に応じて必要な指導を行い、将来社会の健全な一員となり得るよう自立を支援する国立児童自立支援施設において、入所児童の処遇等に必要な施設整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	222	109	97	49	11
		補正予算					
		繰越し等					
	計	222	109	97	49	11	
	執行額	138	94	75			
執行率(%)	62.16%	86.24%	77.32%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	国立児童自立支援施設における、建物の改修及び修繕等に要する経費であるため、定量的な目標を示す事は不可能である。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	国立児童自立支援施設における、建物の改修及び修繕等に要する経費であるため、定量的な活動指標を示す事は不可能である。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-
					(-)	(-)	
単位当たりコスト	- (円/)		算出根拠	-			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	施設整備費	49	11	構内給水管改修工事が完了したため。			
計	49	11					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	-
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	随意契約を行っているが、予算決算及び会計令第99条の規程により少額の随意契約が認められているため問題ない。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>国立児童自立支援施設において、予算決算及び会計令の規定に基づき支出先の選定等を実施し、官房会計課により、工事の進捗状況や工事内容の確認を実施するとともに、竣工時における検査を実施している。</p> <p>各点検項目による評価も妥当と考えられるため、国立児童自立支援施設における入所児童の処遇向上の観点から、平成24年度以降も引き続き、必要な設備の改修や更新などを実施する必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>国立更生援護機関施設整備に必要な経費については、事業の必要性や執行の観点からは適切であるが、事業の優先順位を付けるなど効率的な執行が図られるよう見直すこと。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>22年度に完了した整備費(本館及び研修棟の空調設備の更新工事、研修棟屋根防水修理工事等)を削減し、24年度要求においては、検討している整備費について優先順位を付け、真に必要とされる整備(地球温暖化対策とした外灯のLED電球への切替え工事等)を要求しているところである。また、執行についても、競争入札を実施することで、競争性を保ち、効率的かつ適切な執行を図りたい。(反映額:▲49百万円)</p>			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 行っているかについて補足
 する) (単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.		
費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	本館及び研修棟の空調設備の更新工事	37
計		37

費目	使途	金額 (百万円)
計		0

G.		
費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	体育館屋根改修工事	32
計		32

費目	使途	金額 (百万円)
計		0

費目	使途	金額 (百万円)
計		0

費目	使途	金額 (百万円)
計		0

費目	使途	金額 (百万円)
計		0

費目	使途	金額 (百万円)
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)第一セントラル設備	本館及び研修棟の空調設備の更新工事	37	2者	87.5%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)山一工務店	研修棟屋根防水修理工事	0.9	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)第一設計事務所	本館及び研修棟の空調設備の更新工事管理業務費	0.9	随意契約	

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)第一設計事務所	本館及び研修棟の空調設備の更新工事設計委託費	0.9	随意契約	

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)早川設計事務所	建築物資料整理業務費	0.9	随意契約	

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)早川設計事務所	工事施工に係る物品購入費	0.2	随意契約	

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)協和ビルテクノス	体育館屋根改修工事	32	7者	74.7%

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)鈴木公共建築設計事務所	体育館屋根改修工事管理業務費	0.9	随意契約	

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)鈴木公共建築設計事務所	体育館屋根改修工事設計委託費	0.9	随意契約	

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)大島くじや	物品購入費	0.08	随意契約	